

Sin 工房

ミディアムパッケージ「いろはの家」

MEDIUM

“「いろは」の家”とは

「いろはにほへと・・・」という昔の数え方があります。

建築では古くから古材に「いろはにほへと・・・」で番号を付ける伝統がありました。

例えば、「い」の一番、「ろ」の二番、「ろ」の一番など、大工が墨で土台や柱に筆で書き、施工が順番通りできるようにする大切な作業でした。

この「いろはにほへと・・・」は今でも木造住宅では使われており、現代ではプレカット加工の時点で印刷されて現場に搬入されてきます。

また、一番目に早くしないといけないことや大至急で何かすることを「い」の一番に〇〇する。という言い方もします。

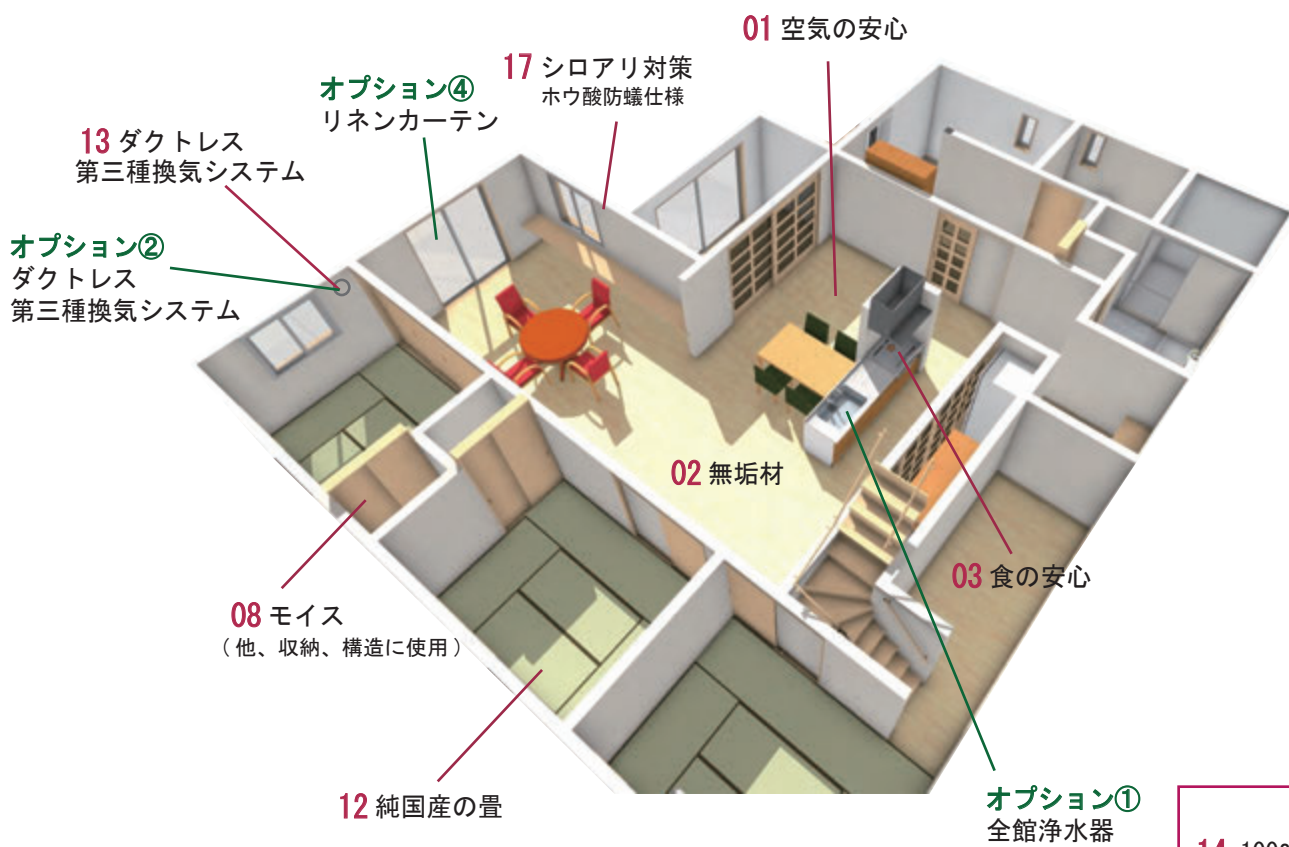
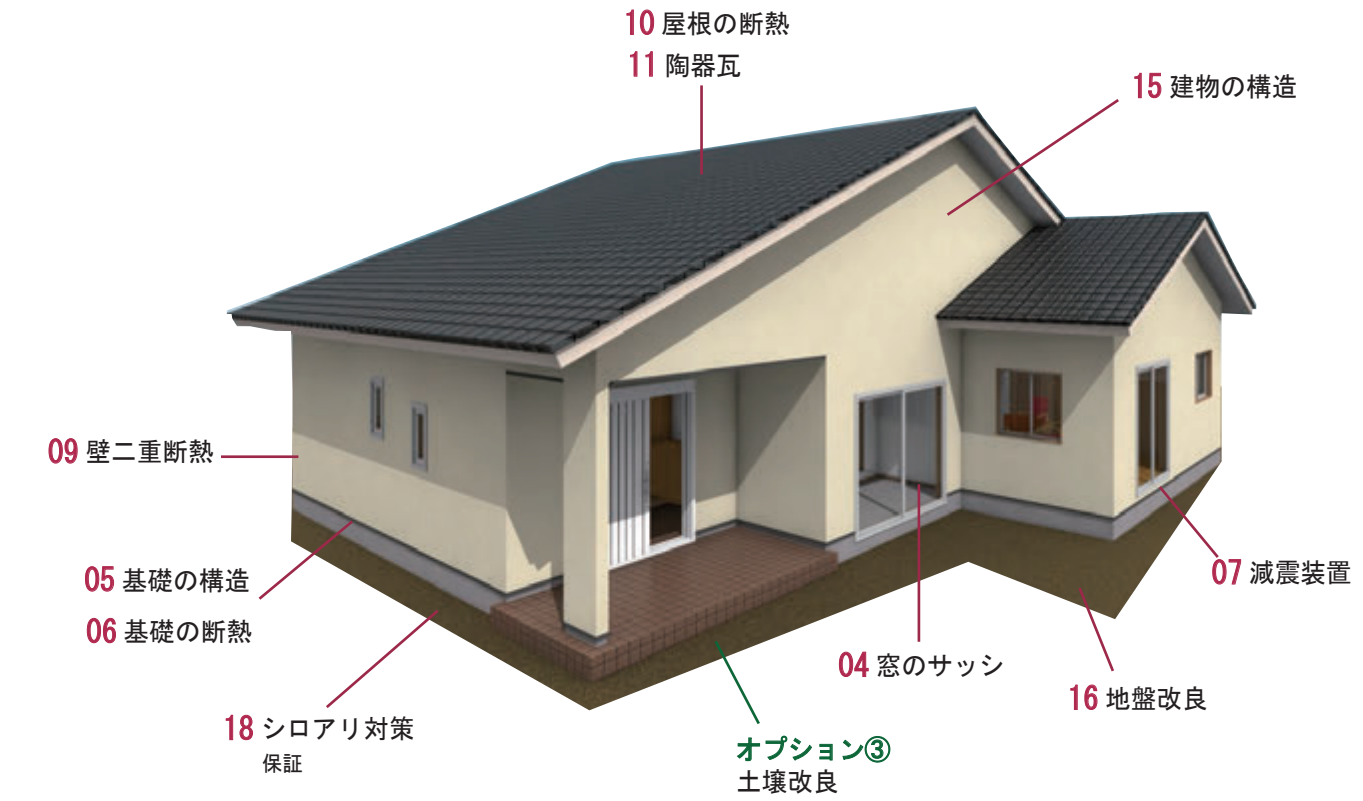
さらに、〇〇の「いろは」をしっかり勉強する、色や光の3原色は赤・黄・青というような物事の基本や順序、ノウハウを正しく行う、または理解するという意味で使われることもあります。

風水では、1. 6. 8が縁起の良い数字と言われ、日本では「いろは」と読みます。このように、古（いにしえ）から使われていた「いろは」は、今でも私たちの暮らしの中に深く関係しています。

Sin工房では、物事の「いろは」や建築での「いろは」など、先人たちが残してくれた技術や伝統を継承しつつ常に初心に帰り、最新の技術や材料など暮らすことの「いろは」を融合し、進化を続ける家を”「いろは」の家”と定義します。



Sin 工房 ミディアムパッケージ概要図





01 空気の安心, スペイン漆喰

02 無垢材

01

空気の安心「スペイン漆喰」

水や食べ物は選んで買う事が出来ますが、
空気は選んで買うことができません。

スペイン漆喰の主成分は大理石の「粉」と大理石の「粒」漆喰特有の調湿効果と抗菌効果で、室内の空気を安心安全な環境に整えます。また、通常の漆喰は真っ白がほとんどで人によっては眩しく感じる場合があります。S i n工場のスペイン漆喰は目に優しいアイボリーが標準です。

通常の漆喰と比較すると材料の性質上、表面積が広くなるため、湿気の吸収や放湿も素早く行います。また、ビニールクロスのような石油製品と違い、マイナスイオンが多い環境になりますので埃をよせにくく清掃性がとても良く、さわやかな空気環境で生活できます。

02

無垢材（むくざい）

床板は杉板小節、厚さ 30 mm 自然ワックス仕上げ、
夏はベタつきが少なく冬は暖かい感じがします。

素足で歩くととても気持ちのいい床材で、木の香りの中に含まれるフィトンチッドはエッセンシャルオイルと同様のリラックス効果もあります。

他に室内建具、造作家具などに使用します。



03 食の安心，遠赤外線調理器



04 窓の仕様



03

食の安心「遠赤外線調理器」 スーパーラジエントヒーター

家を建てることはその家で暮らすことです。

「空気」や「水」へのこだわりも大切ですが、食育という言葉があるように「食」へのこだわりも大切です。遠赤外線調理器はセラミックを熱することで、備長炭の約2倍の遠赤外線を発生させ、短時間で身体に良い料理を作れます。

I H調理器のような電磁波の心配はありませんので妊婦さんやペースメーカーをお使いの方でも安心して使えます。

鍋底がフラットであればアルミ鍋や土鍋も使えます。中華なべなどはガス調理器と同様に鍋振りもできます。また、実際使用されたお客様の感想で、根菜類は圧力鍋よりも柔らかくできたそうです。

04

窓は「アルゴンガス入りLow-E 複層ガラス」を採用

一般的なアルミサッシの窓は、夏季に於いては1㎡当たり600W相当の熱が外側から室内に向けて暖房を当てているのと同じです。

冬は窓から室内に向けて冷房を当てているのと同じです。また、暖房の熱を窓から外へ捨てているようなものです。

屋根や壁の断熱性能を高めてもサッシの断熱性能が悪いと意味がありません。全樹脂サッシは、通常アルミサッシの1000分の1の熱伝導率です。

サッシの枠材も基本的に樹脂素材で、ガラスまで断熱性能を高めてありますので、冷暖房の効率を上げエアコンのeco運転を持続させます。

また窓の結露の心配もありません。

05 基礎の構造

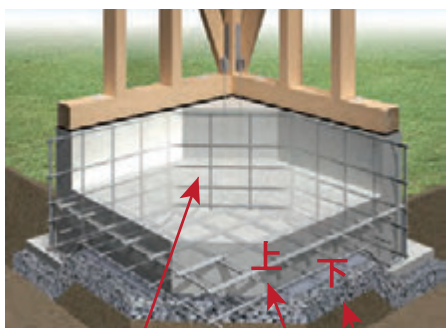


05 基礎の断熱

05

基礎の構造は「二重配筋コーナーハンチ付き」

鹿児島的一般住宅で二重配筋+コーナーハンチの基礎を標準で造っているところは他にはありません。地震の下からの突き上げによる、基礎の破壊などを防ぎます。基礎のコーナーを補強（コーナーハンチ）する事で地震や台風によるねじれの力を受けとめ、基礎の剛性を高めます。



コーナーハンチ
上下二重に鉄筋を配置

06

基礎の断熱は「外断熱防蟻仕様」（九州初採用断熱材）

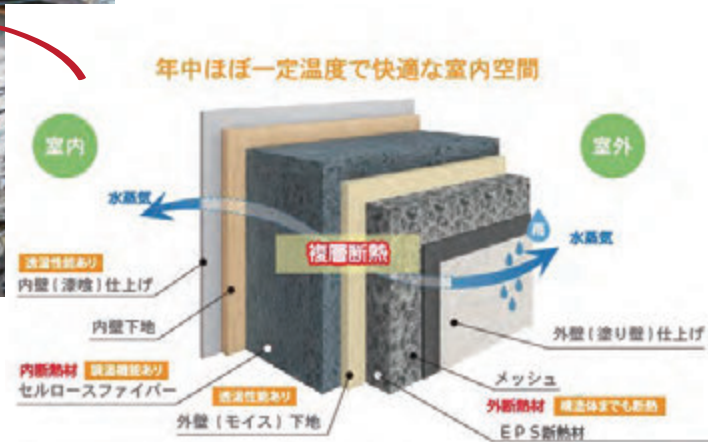
基礎の外周を「防蟻処理した高性能断熱材」で包み、コンクリートの外部から受ける暑さや寒さを床下に直接伝わらないよう極力軽減し、床下空間の温熱環境まで室内と同じように考えます。有機農薬系の毒薬は含まれない、忌避効果のある防蟻断熱材です。また、基礎断熱材にすることで、紫外線や酸性雨などの外部からの影響を受けにくいので、基礎のコンクリートの劣化防止にも役立ちます。





07 モイス、耐震用構造パネル

08 壁の断熱



07

モイス (MOISS)

天然鉱物を主原料として、非常に粘りのある材料で耐震用構造パネルとして最適です。

また、調湿効果が高い為、押入れ、クローゼットなどの収納の仕上げ材に適しています。

天然鉱物ですのでやがては土に還り、環境汚染の心配もありません。珪藻土と同様の吸湿性がありバスマットとしても最適です。

しかも珪藻土のように重くなく割れにくい特徴があります。



08

壁の断熱は「二重断熱工法」

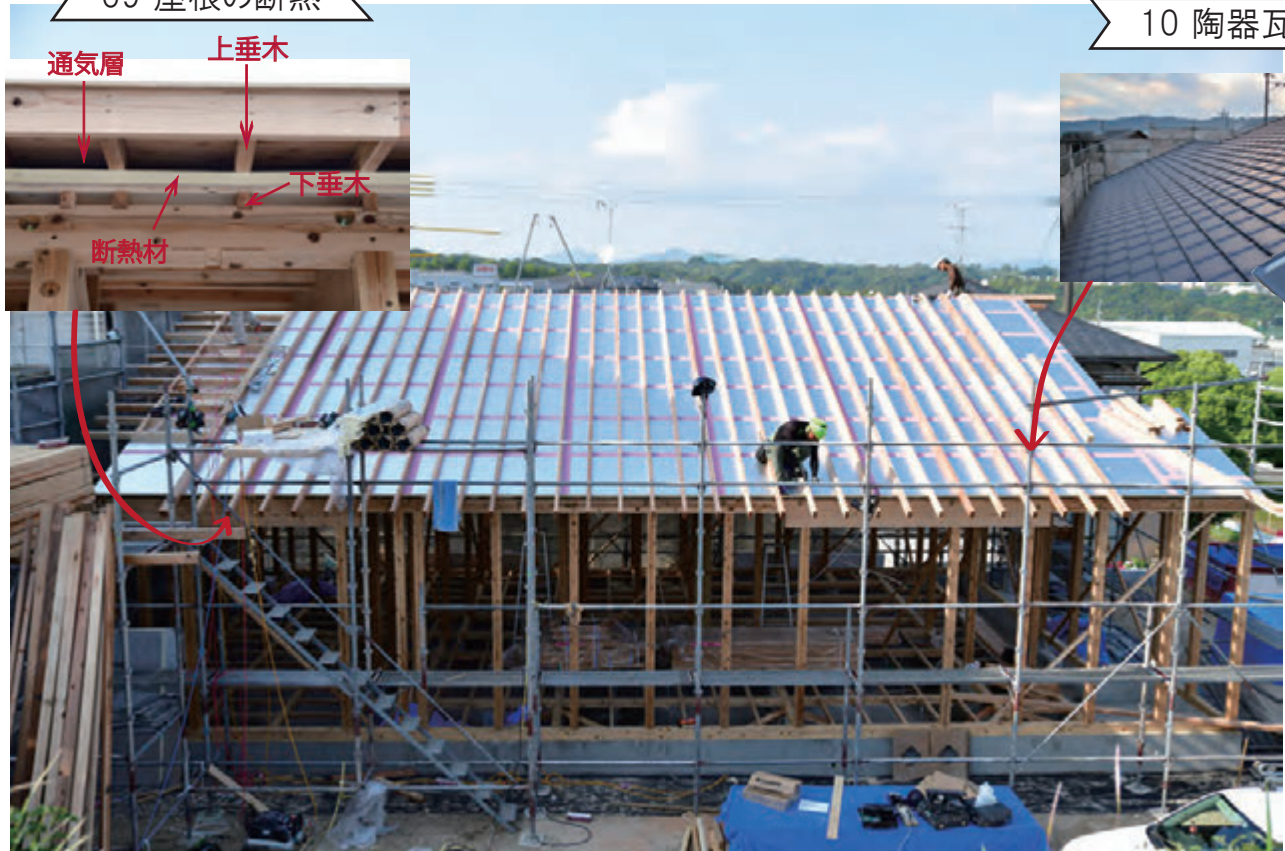
柱と柱の間（躯体内）の「内断熱」には、調湿、防音吸音、防火、防虫、エコ、そして高い断熱性能。

これら多機能性を持ち合わせホウ酸処理した「セルロースファイバー」を使用。家と住む人の大敵である壁内結露の心配もありません。

柱の外側全面は「外断熱」でノンフロンガスのボード状の断熱材を使用。

二種類の断熱材の使用でそれぞれの性能を發揮し、家の省エネ性能の向上や音漏れや反響などにも効果を發揮します。

09 屋根の断熱



09

屋根の断熱は 「外断熱 二重垂木通気工法」 (九州初採用断熱遮熱材)

天井断熱ではなくロフトや小屋裏部屋、小屋裏収納も安心して冷暖房の恩恵を受けられる、屋根断熱方式を採用。

下(した)垂木の上部全面に「高断熱、高遮熱」の断熱材を張り、さらに通気を取る上(うえ)垂木を断熱材の上に設置して通気層を確保、熱と湿気を逃がす二重垂木工法を採用。

屋根からの熱の伝わりを、断熱材に届く前にある程度上垂木の通気層でカットし断熱性能と通気性能を確保して、冷暖房の効率を高めます。強い雨音の軽減にもなります。

10

屋根の材料は「陶器瓦」

茶わんや壺などで、数百年経った沈没船や遺跡など塩分やバクテリアが多く存在する場所から、形や絵付けがきれいな状態で見つかる事があります。

このような焼き物は高温で焼かれたもので、1000℃以下の低温で焼かれた陶器では存在が難しいといわれています。

弊社の推奨する陶器瓦は、1200℃以上の高温で焼いた陶器瓦で塩害や車などの排気ガスに含まれる化学物質にも長年耐えられる瓦です。セメント系の瓦や、金属系の瓦と違い基本的にメンテナンスは不要です。また、防災瓦仕様になっていますので昔のように台風で簡単に飛ぶこともありません。

強い雨音の軽減、瓦の下には通気層があり、熱を逃がすことにより冷房効果を高めます。



11

生産農家が見える、純国産畳と畳下地材

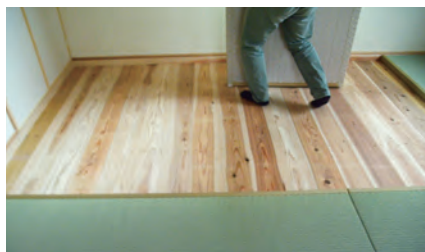
畳は素手や素足で触れる素材です。

あるいは赤ちゃんや子供がホッペを付けて、お昼寝をすることがあるかもしれません。

土づくりから畳の制作まで丁寧に行なっている生産農家と契約して、安心安全な無農薬のイグサをご提供しています。

また、畳の下地は近年合板が増えてきましたが、

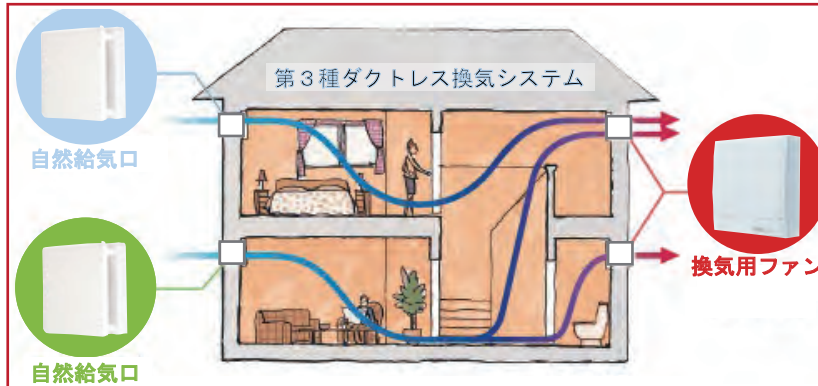
S i n 工房では床の仕上げ材として使えるような杉の無垢材を下地材に標準採用しています。



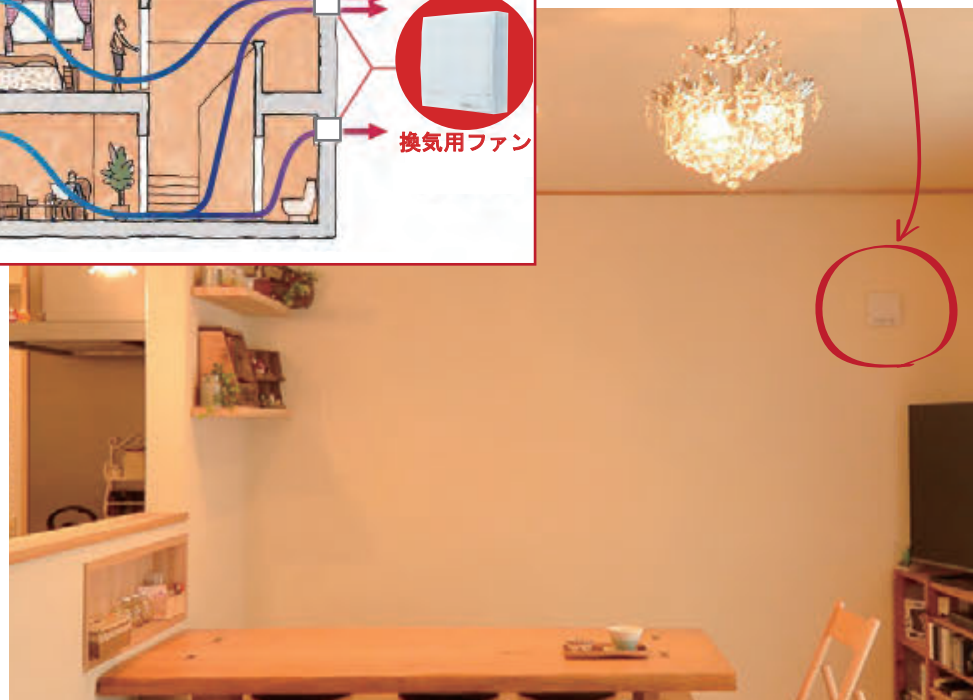
12

第3種ダクトレス換気システム

各部屋の換気口、給気ファンにより取り入れられた新鮮な空気をゆるやかに循環させ、汚れた空気を水廻りなどの排気ファンから屋外へ排出し、常にクリーンな室内環境をキープします。



12 換気システム



01

第1種ダクトレス 24時間換気システム

オプション01

高气密、高断熱の家には第一種換気システムが必須です。ダクトがたくさんついた換気システムが普及していますが24時間動かしているからと言ってダクトの中に埃がたまらないということではありません。



本物の健康住宅を考える立場から、埃が溜まるダクトが無い、また天井裏や床下や壁にパイプスペースが不要なダクトレス第一種換気システムをお勧めしています。



13

100%自由設計 注文住宅

お客様の土地とご家族とご予算に合わせた自由設計でプランを致します。

出来上がりのプランの中から決めて頂くことはありません。そして様々な材料を吟味して良い物だけで造る注文住宅です。



14

建物の構造は
「木造軸組みパネル工法」

基本的には、土台にヒノキを使用した通常の木造住宅に耐震透湿パネルを組み合わせ、地震と台風に強い家をつくっています。

ツーバイフォーなどのパネル住宅、鉄骨、鉄筋の家は、将来使いづらい間取りを使いやすくするためのリノベーションには構造上不向きです。

S i n工房の家は60年アフターサポートの組み合わせで、孫の世代まで受け継ぎ安心して、リノベーションやリフォームができる木造住宅です。

さらに中古で売る場合もあらゆる面で付加価値が付きます。



15 地盤保証



15

地盤調査「30年」保証 地盤改良「30年」保証

新築の場合、必ず地盤調査を行ないます。

調査の結果地盤改良工事が「不要」と判定された後、基礎工事着手から30年間は不動沈下等により住宅に不具合が生じた場合、地盤のレベル回復、住宅の修理費用など5000万円を上限として保証します。

地盤調査の結果、地盤の改良工事が「必要」と判定され、ハイスピード工法による地盤改良工事を行った場合に限り、改良工事の翌日より30年間、不動沈下等により住宅に不具合が生じた場合、地盤のレベル回復、住宅の修理費用など5000万円を上限として保証します。

16 減震装置



16

減震装置

(備えあれば憂いなし)

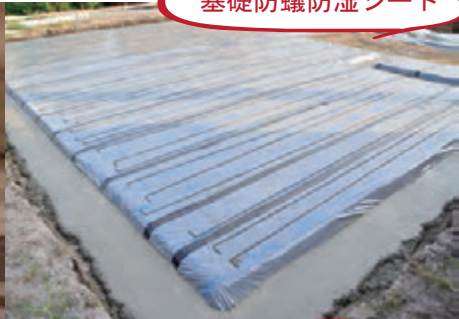
熊本地震で実証された減震装置を基礎と土台の間に設置します。大きな揺れを半分程度の揺れに減震してくれます。確かに耐震強度を高めれば、家は倒壊しにくくなりますが地震の揺れはそのままダイレクトに家に伝わります。

耐震強度を高めるだけでは、家が倒れなくても家具などは倒れ怪我をします。家の揺れを少なくすることでさらなる被害を軽減させあなたの大切な資産と、家族を守るのが減震装置です。

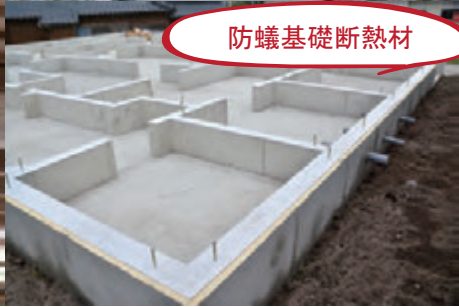
16,17 白蟻対策



ホウ酸 散布作業



基礎防蟻防湿シート



防蟻基礎断熱材

17

白蟻対策
「ホウ酸処理による防蟻予防」
(鹿児島はシロアリが多い地域)

有害物質を一切含みません。
アメリカカンザイシロアリにも有効、
一般的な薬剤は揮発性があるため3年から5年で効果なくなりますが、ホウ酸は一度処理しておけば再処理の必要がありません。
構造材とセルロースファイバーに使用。

18

白蟻対策
「基礎防蟻防湿シート、防蟻基礎断熱材
によるシロアリ5年10年保証」

揮発性のある有機農薬系の殺虫剤や、
防腐剤の毒薬は使用しません。
シロアリの特性を利用した
忌避効果のある防蟻工法です。



白蟻被害 実例

オプション02



02

水の安心「全館浄水器」

空気の次に大切なものは、水です。全館浄水器は水道メーターより建物側に設置します。

キッチンだけでなく、お風呂、洗面台、洗濯機、トイレ、外水道全ての水の塩素を除去することで安心して飲めるだけでなく塩素による、水垢、皮膚や髪の毛の痛みや炎症の緩和に役立ちます。

実際に使われていたお客様（母，娘）で「冬はお風呂上りに肌がカサついていたが、全館浄水器を採用してから肌のカサつきがなく、しっとりしている」と、いうご感想を頂いています

肌や髪がカサつくのは、お湯の中に含まれる塩素が皮膚や髪の毛のたんぱく質に結合するため、塩素を除去すれば、お風呂のお湯もシャワーも安心して使えます。。

オプション03



03

生体エネルギーの 土壌改良、生コン改良

農業用土壌改良の土を基礎の

下の土と混ぜる事で排水が良くなります。

また、家が建っている場所の土壌を変えることで、
野菜や花が元気に育つ環境になります。

自然の物に良い環境を作ることは、そこに住む人の
環境まで良くなる事になります。土壌汚染は、川→
海→魚→人、このサイクルが必然的に人間や動植物
にもかかわってきます。

「土壌改良から家づくりを考える」

これもS i n工房のこだわりの一部です。

また、生体エネルギー水を生コン車に決められた量
を投入すると、コンクリートの分子が整列し密度や
強度が高まり、ヒビ割れなどが起きにくくなります。

オプション04



04

天然素材 リネン（麻）のカーテン

現場の窓の採寸後、リネンカーテンの製造工場と
糸の太さや色など直接打合せを行い、カーテン生地
を反物から仕入れ製品にして納入します。

化学繊維のカーテンとは違い、埃を引き寄せにくい
ので清掃性も良く洗濯もできます。

Sin 工房は、着工数や売上を競うのではなく
一棟一棟丁寧に手間をかけ「質」と「暮らしやすさ」を求めて
家づくりを行います。